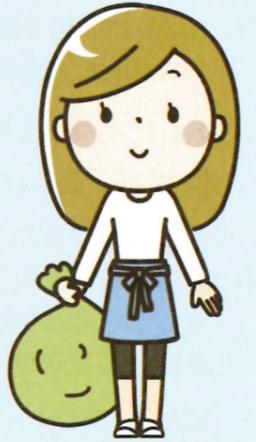


# ごみダイエット作戦! さらなるごみ減量にご協力を!

平成29年3月発行

## ごみ搬入量の推移

ごみ減量へのご協力ありがとうございます!  
~有料化後1年間で16.6%のごみ減量達成(対前年比)~



ごみ減量を目的として、平成27年10月1日から家庭系日常(可燃)ごみの有料化を実施しました。有料化実施後の平成27年10月~平成28年12月までのごみの搬入量は表のとおりです。

有料化実施後の1年間でみると、前年の同じ時期より5,515トン減量し、率にすると16.6%の減少となっています。これは、日常(可燃)ごみの有料化により、市民の皆様がこれまで以上に分別に取り組んでいただき、減量につながったものと考えられます。また、平成28年10月以降は、有料化が始まっている前年の同じ月と比較すると、11月、12月いずれもやや増加していますが、減量の取組みを継続していただいていると考えられます。

焼却場に搬入したごみの重さに応じて、処理費用を税金から支払っています。  
さらなるごみ減量ができるよう、いくつかの方法をご紹介します。

### 家庭系日常(可燃)ごみ月別搬入量 [単位:t(端数切捨て)]

平成27年10月の有料化実施後、1年間トータルでは、前年と比べて5,515トン(16.6%)の減量!

#### 有料化実施1年目

有料化実施

有料化後	平成27年10月	11月	12月	平成28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	2,083	2,192	2,568	2,216	2,094	2,264	2,366	2,633	2,281	2,304	2,407	2,390	27,798
前年同月(有料化前)	2,712	2,451	3,084	2,715	2,251	2,761	2,817	2,825	2,807	2,767	2,702	3,421	33,313
差引量	▲629	▲259	▲516	▲499	▲157	▲497	▲451	▲192	▲526	▲463	▲295	▲1,031	▲5,515
前年度比	▲23.2%	▲10.6%	▲16.7%	▲18.4%	▲7.0%	▲18.0%	▲16.0%	▲6.8%	▲18.7%	▲16.7%	▲10.9%	▲30.1%	▲16.6%

#### 有料化実施2年目

有料化後	平成28年10月	11月	12月	合計
	2,354	2,294	2,609	7,257
前年同月(有料化後)	2,083	2,192	2,568	6,843
差引量	271	102	41	414
前年度比	13.0%	4.7%	1.6%	6.0%

有料化実施2年目も、減量の取組み継続中!  
今後、さらなるごみ減量にご協力をお願いします!

### 家庭系日常(可燃)ごみ搬入量の推移



## リサイクルできる紙ごみの分別

## 日常(可燃)ごみに出されている「紙ごみ」を分別しましょう!

現在、和泉市ではペットボトル、プラスチックボトル、食品トレイ(発泡スチロール製)、古着、紙類などの新分別収集を実施しています。地域で実施していただいている集団回収と合わせると、約6,177トン(H27実績)のごみを焼却せず、リサイクルを行うことができました。しかし、泉北クリーンセンター(ごみ処理場)で行っている日常(可燃)ごみのごみ質分析結果では、焼却されるごみの中にも含まれる約40%が紙類となっており、まだまだ大切な資源が多く燃やされているのが現状です。

その多くの紙類に、牛乳パックなどの飲料用紙パックやお菓子・ティッシュの箱が見受けられます。このような紙類もすべてリサイクルすることができます。

焼却されている紙類を分別していただき、「資源」としての有効活用にご協力をお願いいたします。



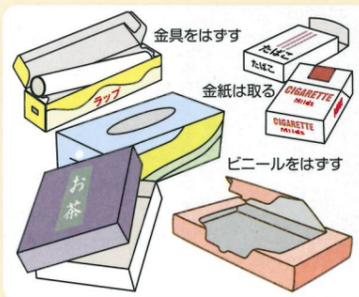
## 日常(可燃)ごみに出されることが多いリサイクルできる紙類

### 資源化できる紙類

- レトルト食品が入った空箱
- 古い封筒やはがき
- ラップの外箱及び芯(金具ははずす)
- カッターシャツなどに入った台紙
- チケット・メモ帳 など

### 資源化できない物

- ワックスのついた紙コップ
- 油紙
- 写真
- 感熱紙(レシート)
- 粘着物のついた封筒や圧着はがき
- 紙おむつ など

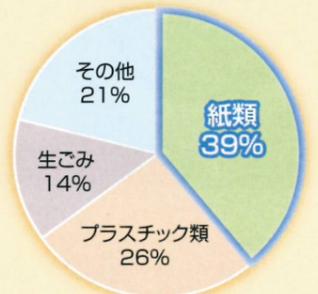


空箱等は小さくまとめて、十字にしぼるなどして出してください。

- 紙袋に入れる
- 紙箱などに入れる
- 使い古しの封筒などに入れる

**手法** 切手くらいの大きさからリサイクルできますので、部屋のごみ箱の横に紙袋を置いていただき、日常(可燃)ごみから紙ごみを減らしましょう。

### 平成27年度の日常ごみの内訳



## 古紙・古着類は地域の集団回収へ優先的に出してください!

集団回収に出された古紙類等の持ち去りでお困りの場合は、生活環境課までご相談ください。

### 集団回収を始めませんか

### 団体の募集!

和泉市内の町会、自治会、子ども会等の住民団体が団体登録を経て、集団回収を行っていただくことで奨励金を交付します。現在登録団体は255団体(平成28年12月時点)あります。

生活環境課では地域で活動していただける団体を募集しています。詳しくは、下記までお問合せください。

(集団回収とは、町会・自治会・子ども会等の住民団体が家庭から出る古紙等の資源物の回収を行い、リサイクルする活動です。なお、有価物回収業者の登録一覧表は、和泉市ホームページからご確認ください。)

(裏面に続く)

〈問合せ先〉 和泉市役所生活環境課 (直通: 99-8122)

# 食品ロスを減らそう！ 食品ロスとは？

日本では、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」が年間642万トン(\*)あると試算され、このうち、一般家庭から出される食品ロスは約半分の312万トンあると言われています。これを、家庭で一人当たり換算すると、年間24.6キログラム(お茶碗164杯分のごはんに相当)を捨てていることとなります。大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らして環境面だけでなく家計面でもプラスになるような工夫をしましょう。

(\*)農林水産省及び環境省「平成24年度推計」

## 食品ロスを減らす工夫

### 1. 食材を「買いすぎず」「使い切る」「食べ切る」

値段が安いからといって食材を買いすぎたり、在庫があるのを忘れて同じ食材を買ってしまい、使い切れずに捨ててしまうことはないですか？

そのような無駄を防ぐため、買い物前に冷蔵庫内などの在庫をチェックし、必要なものだけを買うようにしましょう。在庫のチェック方法としては、メモ書きや携帯・スマートフォンで撮影することが有効です。

### 2. 残った食材は別の料理に活用する

食べ残しなどを減らすため、料理は食べられる量だけつくるようにしましょう。食べ切れずに残った場合は、冷蔵庫に保存し、早めに食べましょう。消費者庁のホームページで「食材を無駄にしないレシピ」を紹介していますので、右のQRコードからご覧ください。



### 3. 「賞味期限」と「消費期限」の違いを理解する

食品の期限表示には、「賞味期限」と「消費期限」の2種類があります。「賞味期限」とは「おいしく食べることのできる期限」です。賞味期限を過ぎたものは、自分で食べられるか判断することも大切です。「消費期限」とは、「食べても安全な期限」です。消費期限を過ぎたものは食べないほうが安全です。定期的に冷蔵庫や収納庫を整理する日を決めて、期限を確認し、食材を上手に食べ切る工夫も必要です。



それでも残った生ごみは、次のような方法で減量しましょう！

## 生ごみの水切り

## 生ごみに含まれる水気を絞りとる

ごみの中身の約14%は生ごみが占めています。(平成27年度実績)また、生ごみの約80%は水分であり、この水分にもごみ処理経費がかかります。

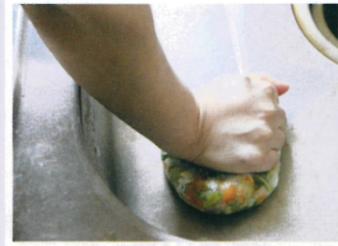
生ごみは毎日出るものですので、出すたびに少し気にかけていただければ、水分は随分減らせます。簡単にできることから始めましょう。

**手法** すでに取り組んでいた水切りにプラスもう1回。今一度、水切りにご協力をお願いします。

最初から水に濡らさない



ごみ出し前にひと絞り



水気を乾かす(ティーバックやコーヒーがら)



## 生ごみ処理容器の利用

## 家庭用生ごみ処理機・生ごみ自家処理容器 EMぼかし生ごみ堆肥化容器

## 購入費補助

和泉市では、一般家庭から排出される生ごみの再生利用を図り、あわせて市民の皆様のごみ再利用意識の高揚及びごみ減量を促進することを目的とし、家庭用生ごみ処理機(電動式)・生ごみ自家処理容器(コンポスト)・EMぼかし生ごみ堆肥化容器を購入する場合、予算の範囲内で補助金を交付しています。詳しくは、生活環境課(99-8122 直通)へお問合せいただくか、右のQRコードから和泉市ホームページをご覧ください。



**注)家庭用生ごみ処理機(電動式)は購入前に事前に市への申請が必要です。**

### 家庭用生ごみ処理機(電動式)



**補助金**  
運搬費及び設置工事費等を除く処理機の購入費(消費税含む)の3分の2を補助(※40,000円を限度)  
注)100円未満の端数は切り捨て

**要件** 購入前に事前に市への申請が必要

**台数** 1世帯1台

### 生ごみ自家処理容器(コンポスト)



**補助金**  
購入費(消費税含む)の4分の3を補助(※1基につき5,000円を限度)  
注)100円未満の端数は切り捨て

**基数**  
1世帯2基まで、ただし、適正に管理しているが、使用できなくなった場合はその限りではない

### EMぼかし生ごみ堆肥化容器



**補助金**  
購入費(消費税含む)の4分の3を補助(※1基につき2,000円を限度)  
注)100円未満の端数は切り捨て

**基数**  
1世帯2基まで、ただし、適正に管理しているが、使用できなくなった場合はその限りではない

## キエーロで生ごみの減量を

## 「ベランダ de キエーロ」を使って生ごみを減らしましょう！

### キエーロとは？

ベランダ de キエーロ(以下「キエーロ」)は、土の力で生ごみを分解する生ごみ処理器です。あなたもキエーロを使って生ごみを減らしてみませんか？

購入を検討される場合は、生活環境課(99-8122 直通)へお問合せください。

- キエーロの特徴**
- 黒土の中にもともといる微生物が生ごみを分解するので、土が増えない。また、特別な菌等も不要なので、維持費もかからない。
  - 使い方が簡単で、虫や臭いが発生しにくい。
  - 食用の廃油、汁物、くさった物でも投入が可能。
  - 微生物には水分も必要なので、水切りの必要がない。
  - キエーロ内の土は生ごみを分解し、養分を含んでいるので、堆肥としても使える。ただし、堆肥目的ではないので、堆肥として使った分は土の補充が必要。

市役所内にキエーロを設置し、実際に生ごみを投入して減量効果等の実証実験(モニタリング調査)を行っています。

和泉市ホームページ



ベランダ de キエーロ 高さ80cm×幅90cm×奥行43cm